

令和2年度第1回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 令和2年7月29日(水) 10時00分～11時38分

2 場 所 千葉市消費生活センター3階 研修講義室

3 出席者

(1) 委員

吉野知義 委員長・綾部輝幸 副委員長

亀山恵美子 委員・伊藤直樹 委員・石渡明子 委員・能勢仁 委員

江波戸正子 委員・松尾修一 委員・木元美子 委員・古賀義明 委員

(2) 事務局

安部中央図書館長・高石みやこ図書館長・山崎花見川図書館長・

平岡稲毛図書館長・中島若葉図書館長・和田緑図書館長・村田美浜図書館長

太田中央図書館情報資料課長・山下中央図書館情報資料課課長補佐

山崎中央図書館管理課長・市川中央図書館管理課担当課長

(3) 傍聴人

5人

4 議 事

(1) 委員長・副委員長の選出について

(2) 令和元年度千葉市図書館の評価について(評価実施:R2、評価対象:R1)

(3) 令和2年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標について

(4) その他

5 概 要

(1) 委員長及び副委員長の選出について(委員の互選)

吉野委員が委員長に、綾部委員が副委員長に選出された

(2) 令和元年度千葉市図書館の評価について(評価実施:R2、評価対象:R1)

案のとおり承認された。

(3) 令和元年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標について

案のとおり承認された。

(4) その他(外部評価委員会の選出について)

綾部副委員長、亀山委員、木元委員が選出された

(5) その他(新型コロナウイルス感染症の対応について)

図書館の対応・運営状況を報告した。

6 会議経過

<開 会>

○会議資料の確認

○事務局より協議会の成立について報告

- 会議の公開について
- 中央図書館長あいさつ

<議事>

(1) 委員長及び副委員長の選出について

安部中央図書館長 それでは、委員長選出までの間、議事を進めさせていただきます。

まず、次第の議事(1)委員長及び副委員長の選出についてですが、お手元にお配りしております「千葉市図書館協議会 委員名簿」をご覧ください。

委員長及び副委員長は、千葉市図書館管理規則第24条第1項の規定により、委員の互選によるとされております。そこでお諮りいたします。

委員の皆様からご意見ございませんでしょうか。

伊藤委員 伊藤です。私は前協議会から引き続き委員になりましたが、前の任期の協議会では、吉野前委員長、綾部前副委員長のもと、非常に有意義な議論ができたと思っております。つきましては、またお二人にはご負担をおかけすることになりますが、引き続き正副委員長をお引き受けいただければと思います。

安部中央図書館長 ありがとうございました。ただいま、伊藤委員さんから、委員長に吉野委員さんを、副委員長には綾部委員さんを、とのご意見がございましたが、皆さんいかがでしょうか。

委員 《異議なし》

ご意見がございませんので、委員長に吉野委員さん、副委員長に綾部委員さんにそれぞれよろしく願い申し上げます。

吉野委員長 では、これから議事の方進めていきたいと思っております。

(2) 令和元年度千葉市図書館の評価について(評価実施:R2、評価対象:R1)

吉野委員長 次第の議事(2)令和元年度千葉市図書館の評価に入らせていただきます。

今年度、新しい委員の方もいらっしゃいますので、事務局から評価について、これまでの流れを簡単に説明してください。

山崎管理課長 事務局の中央図書館管理課の山崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、これまでの概要でございますが、平成21年度に、千葉市図書館のサービス向上を図るために策定されました「千葉市図書館サービスプラン 2010」におきまして、毎年度、具体的で分かり易い達成目標を定め、計画的に事業を実施し、その事業活動実績について、図書館による内部評価及びこの協議会による外部評価を行い、結果を公表することとされております。

これを受け、昨年度8月に開催されました「第2回千葉市図書館協議会」におきまして、令和元年度に実施する「千葉市図書館サービス取組項目と評価指標」をご審議いただき、承認・決定されました。

その、令和元年度の取組結果等に基づきまして、まず、今年5月に市、図書館内部での内部評価を行い、その内部評価を元に、6月16日に、昨年度の外部評価委員の吉野委員長を評価部会長として、また、石渡委員、十倉委員を部会員として、合計3名の委員の皆様で「外部評価部会」を開催し、評価を行っていただきました。

本来であれば、外部評価部会を早めに開催し、外部評価案をご審議いただく本協議会を、前年度の任期中の6月中に開催させていただくべきところですが、新型コロナウイルス感染症により、場合によっては「書面開催」も検討すべき状況でありましたことから、感染が治まり、実質的な会議を開催できる状況となることを待ったため、この時期となりました。外部評価をしていただいたお一人の委員の方が、任期更新でいらっしゃらない等イレギュラーな形となりましたが、ご了承をいただきたくお願い申し上げます。議事(2)令和元年度千葉市図書館の評価についてご説明いたします。

《令和元年度千葉市図書館の評価に関する説明》

吉野委員長 ありがとうございます。それでは、私の方から先月開催された外部評価についてピックアップして説明させていただきます。

それでは、内部評価と外部評価が異なる評価をつけている項目、結果的にC評価の項目を中心に説明します。これに該当する項目は全部で8項目になります。

「資料 1-1」をご覧ください。

4 ページ、項目番号 7、「職員の業務水準を向上させるため、図書館業務に関する専門研修を実施します。」についてです。内部評価・取組結果では、A 評価としていますが、外部評価では、研修受講数は増加しているものの、毎年行われていたレファレンス・スキルアップ研修が実施されていないため B 評価としました。

続きまして、4 ページ、項目番号 8、「公民館図書館のサービス向上のため、選書、レファレンス、研修等の支援を行います。」についてです。内部評価・取組結果では、A 評価としています。外部評価では、公民館図書室の研修会に講師を派遣する等図書室運営の支援を行った取組みを評価するものの、長期的視点に立った運営部分に、もう少し取り組んでほしいという意見があり、結果 B 評価としました。

続きまして、7 ページ、項目番号 15、「担当職員のレファレンス技術を向上させるため、定期的な研修を実施します。」についてです。内部評価では C 評価とされています。外部評価におきましても研修が行われていないため C 評価です。レファレンスは利用者の要求を的確に把握し、資料・情報についての豊富な知識を効果的に使える探索技術が必要で、その向上のためにも、研修は毎年確実に実施していただきたい。と言う事になります。こちらが、内部評価、外部評価ともに C 評価となった唯一の項目になります。

続きまして、10 ページ、項目番号 22、利用者の利便性を高めるため、図書館資

料の受取りができるサービスポイントの設置についてです。内部評価は B 評価でしたが、2 つ目のブックポストが幕張イオンモールに設置されましたので、外部評価では A 評価としました。

続きまして、12 ページ、項目番号 24、図書館ホームページについてです。ホームページのアクセス件数は年々大きく増加していますが、多くの情報が掲載されているにも関わらず、使い勝手がよくないため見逃されたり、すぐに欲しい情報が手に入らない等の意見があり B 評価としました。今後新システムに移行されるという事なので新しいシステムで十分に取り組んでいただきたいと思います。

続きまして、19 ページ、項目番号 36、児童サービス担当職員の知識・技能の向上等についてです。内部評価は A 評価でしたが、児童サービスに精通した職員の存在は不可欠であり、どの館にも児童担当の研修を受けた職員を配置することが急務と考えました。内部にも研修できる人材が必要で、外部評価では検討課題ありとし、B 評価としました。

続きまして、20 ページ、項目番号 38、図書館見学や職場体験などの学校との連携についてです。内部評価は A 評価ですが、前回の 469 回の実施から 300 回と回数が大幅に減少しておりましたので、外部評価は B 評価としました。

続きまして、最後の項目になりますが、30 ページ、項目番号 62、市民との協働による「中央図書館見学ツアー」の実施についてです。今回のコロナウイルスの関係によりまして、閉館により実施できなかったため、内部評価では C 評価でしたが、実際には企画・準備されていたということで、外部評価は B 評価としました。今年度はどうなるか分かりませんが、引き続き実施の検討をお願いします。

説明は以上になります。内部評価と外部評価が異なる項目、ともに C 評価の項目、全部で 8 項目。全体で 67 項目と多く、ご覧になるのも大変かと思いますが、ご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。

松尾委員 まず、評価に関わった委員の方、本当にお疲れさまでした。図書館の評価については、基本的には合格点が出せるものだと思います。ただ、全体的に研修の部分で少し点数が下がっている気がします。人材的に図書館職員の異動もあって、研修を実施した職員を活用しようとしても異動になるなどの問題を含んでいるので、研修というのは難しい面があると考えます。全体的な体制の構築の支援、図書館職員として積み上げた人材の人員配置等、この評価とは別になりますが、このような根本的な事を解決していかなければならないと感じました。

吉野委員長 はい。ありがとうございます。外部評価の方でも研修、職員の育成に関しては、いろいろご意見が出され、結果的に評価を下げたところもございます。人材に関しては非常に難しいですが、今年度、子ども読書活動推進計画策定となりまして、特に評価項目にもあった、児童向けの読書活動については、職員の体制も拡充していただきたい。

木元委員 評価についてですが、67 項目にわたって詳細に評価されている事について敬意を表します。このおかげで千葉市の図書館のサービスは高水準に保たれていると思います。今後もこのような詳細な評価は続けてほしいと希望します。人材や資料費等図書館内だけでは解決できない問題もありますが、何年かの評価を見ましたが、必ず出てくるものに資料費の減少や司書資格を持った職員の配置。委託の事、レファレンス研修の事、有料データベースの問題等同じような項目がここ何年かにわたって出ているので、それを解決できるように知恵を絞って行政の方に働きかけできないかなと感想として持ちました。評価が終わったあとの活用の仕方をお聞きしたい。評価をして改善して行くが、現場の職員に伝えなければいけないが、どのように職員に伝えて、問題点の改善の仕組みが図書館内であるのかどうかお聞きしたい。

能勢委員 No36とNo38について、両方指摘があり、No36の内部研修ですが、千葉市の図書館は児童室がない図書館は一つもない。その中で、児童室担当の職員が決まっていないと感じられるが、絶対に避けるべき事である。特に貸出しを見ると、40%近くが子どもの本であり、親子で図書館を利用してくださり、それについての研修がなされておらず、内部評価でAをつけているが認識が甘いとを感じる。それからNo38ですが、非常に重要な問題を秘めていると思います。というのは、千葉市内には15の図書館がある訳ですが、特に中学生がどれだけ利用しているか、中央図書館を知っているか、中央図書館を見学に来た学校は資料によると1校しかない。昨年度は中央図書館を見学した学校は0である。今後、高校・大学・成人となった時に一生図書館を知らないという人間が日本人の中に多くなるのではないかと思う。そういった点で、小学校は昨年度47校図書館を見学しているが、現在千葉市内で小学校110校前後、その内47の学校は図書館を見ている。ただ、残念ながら、中央図書館を見学しているのは数が少なく7校、人数は昨年3,100人小学生は見ています。新しいデータでは2,000人、中学生に至っては昨年0人、今年は1つの学校が中央図書館を見学している。そういう意味で、委員さんの中には中学校の校長先生もいらっしゃる訳で、中学の1年生のカリキュラムの中に中央図書館の見学をするという事です。前期の間に見学をさせる。中学は50~55校。受けいれる側は大変だと思いますが、図書館を見て、これは利用できるなという事を体験させる事が大事なので、カリキュラムを組んでいただきたい。小学生の場合、図書館の見学は大変失礼ですが、遠足。中学の場合は遠足もありますが、プラス研修、学習も入ってきて、一番本を読み始める時期。相対的には、読み聞かせは小学校も中学校もありますが、中学3年生は高校入試を控え、読書量が減ります。そういった時に学習をする、いい本に出会うというのは、私は中央図書館だと思います。地区館の事を悪く言うつもりはありませんが、極端な事を言えば、学校図書館の延長だと私は思っております。中央図書館の延長ではありません。大宮の図書館と比べるとまだまだ千葉の場合は遅れていると感じておりますけど、No36の評価Aは甘いという事と、No38の図書館と学校との連携を教育委員会を通してカリキュラムの中に入

れるという事を必須事項にして図書館を見学して勉強していただくという事を感じました。

吉野委員長 ありがとうございます。No36、38 については、説明したように外部評価として下げざるを得ないという事です。それでは、安部館長の方から今までのご意見に対してお願いします。

安部中央図書館長 ご意見ありがとうございました。まず、木元委員からのご意見に対する回答を申し上げます。せっかくこういう評価を行った訳であって、PDCAサイクルを回して、これを活用しようということで、そのためには、図書館職員全部で 360 人おりますが、職員が評価一つ一つ分かっていなければなりません。評価の中にはお叱りもあります。これは真摯に受け止めます。そしてお褒めの部分もございます。これは気概にして、職員間で共有していきたいと思えます。共有にあたりまして、昨年度から図書館職員全てに情報発信していく一つのツールとして図書館ファミリーという図書館報を出しておりますので、この中で概要に関して述べ、かつ本編についても、全員が見ていくようにしたいと考えております。また、木元委員からもう一つご意見がありました、人材の育成の関係でございます。これにつきましては、今年 3 月に策定いたしました、図書館ビジョン 2040 の中でも、人材が大事だということで、図書館職員の人材育成の方針を作ることとしておりますので、この中で十分配慮していきたいと思っております。なお、そういった取り組みの一環としまして、今年 9 月に図書館職員を対象とした研修を行いたいと思っております。どういった研修かと言いますと、日本図書館協会の認定司書というのがございます。全国で 100 人余りしかいない認定司書の方が県内の図書館にいますので、その方に来ていただいて、司書というのはこういう仕事もできるんだよといったこととお話しいただいて、そこから学び取ってきたいと考えております。小さな一歩ではございますが、まずはそういった事で進めて行きたいと考えております。続きまして能勢委員から、ご意見を頂戴しました。まず 36 番については、中央図書館の中に児童分野を扱う児童青少年班というのがございます。昨年度まで、それを取り仕切る主査が不在で担当課長補佐が埋め合わせる形で行って行っておりましたが、今年度主査が付きましたので、学校の教員をやっている担当課長補佐が各図書館を巡回しながら、児童分野のスキルアップに努めて行きたいと考えております。続きまして、38 番でございますが、「図書館を知ると言うことは 100 人の友達を持つことと同じ」と聞いたことがございます。そういった機会を子ども時代に得られなかったと言うことは人生にとって大きな損失と考えます。そこで、学校と連携して、今年度、子ども読書活動推進計画を策定して行きますので、その中でなるべく取り入れていきたいと考えます。

吉野委員長 ありがとうございます。その他にご意見ございますか。

綾部委員 評価に関しては特にコメントございません。委員の皆さんお疲れさまでした。取り組み状況について伺いたい点がありますので、質問と言う形になります。まず、26 番の WiFi 環境の拡充に向けた検討というのがございますが、現状で中央館

内、みやこ図書館、みずほハスの花図書館において、WiFi 環境を整備し、公衆無線 LAN サービスを引き続き提供したとありますが、その利用状況について簡単にご説明いただければありがたいです。それから 64 番の施設の点検や老朽化部分の改修を行いますというところに対応し、当初計画どおり実施したとあるのですが、これだけ見ますと、具体的にどのような事をしたかが分かりませんので、具体的に何をされたかを説明していただくとありがたいです。それから 65 番で図書資料費の確保に努めたが、内示額としては減っているとの記載がございます。毎年のご指摘がございましたけれども、資料費の減の理由について、市の事業として一律の減のようなものがあるのか、それとも図書館独自の理由があるかお聞かせいただければありがたいです。以上質問 3 点です。

吉野委員長 では、いただいた 3 点について、具体的にお願いいたします。

山崎管理課長 管理課長の山崎でございます。WiFi の利用ですが、みずほにつきましては、新聞データの無料検索や、タブレット貸出しをしたりして利用しております。また、みやこ図書館におきましては、データの検索、お持ちいただいた端末等で検索していただいております。中央図書館につきましても、館内で WiFi を利用しまして、データベースの検索やインターネットでの検索に利用しており、利用者の声としましては、調べる事が早くなったと、好評をいただいております。なお、今日、千葉市議会の臨時議会が開催されておりまして、これ以外の図書館全て、中央図書館の電波の届かない所、地区館、分館全て WiFi 環境を整えようと補正予算をあげております。今日午後議決の予定ですので、承認をいただきましたら、全館で WiFi が使えるような環境を整えて行きたいと考えております。資料費の減ですが、毎年財政当局から、予算の策定基本方針が示されまして、その中ででの対応となります。老朽化の対応につきましては、通常のメンテナンス、雨漏り等の対応ですが、具体的なものについては、後日お知らせいたします。

綾部委員 WiFi の充実と言う事でご尽力いただき、ありがたいと思います。ご説明で分からなかったのですが、データベースの検索等おっしゃっていたのですが、特に用途を限定しているものなののでしょうか。

山崎管理課長 今使っておりますのは、フリースポット WiFi ですので、ゲームのサイト等はセキュリティー上、制限をかけていますが、それ以外は制限を設けておりません。

綾部委員 分かりました。ありがとうございます。

吉野委員長 はい。その他いかがでしょうか。

能勢委員 62 番の 3 月 14 日の開館後に実施予定だったとあるが、これは開館後でよろしいですね、閉館後ではないのですね。いわゆる、館が開いている時に皆さんをお連れして見せるという事でしょうか。

太田情報資料課長 情報資料課の太田です。申し訳ございません。土曜日に館を閉館してから、6 時以降に 1 時間程度見学ツアーをしているものです。失礼いたしました。

吉野委員長 ありがとうございます。こちらの資料の修正をお願いします。一通りご意見

をいただいたようですので、こちらの案をもって協議会の承認とさせて頂きたいと思
います。

委員 <<異議なし>>

(3) 令和2年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標について

吉野委員長 ありがとうございます。では、続きまして、議事の(3)令和2年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標に移らせていただきます。今年度の評価を行うにあたり、今年度の取組項目や達成目標をここで審議し、定めるものです。事務局より説明をお願いします。

山崎管理課長 はい。よろしく願いいたします。議事の(3)令和2年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標についてご説明いたします。

<<令和2年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標(案)に関する説明>>

吉野委員長 はい。ありがとうございます。こちらについて、ご意見、ご質問ございますか。
はい、石渡委員、お願いします。

石渡委員 よろしく願いいたします。今回の2040に対しまして、新しい指標を出していただ
いて大変だったとは思いますが、ありがとうございます。今回は2010と融合して新
しい計画案という事で質問させていただきます。まず、2040ですと今から20年後
を目指すという事で、先ほど管理課長さんもおっしゃったんですが、逆算して考え
ていくという事で、本年は20年の内の1年目という事で具体的にどんな事かとい
うと、この中では分かりづらいような気がしました。白い丸と黒い丸で分けていただ
いていますが、项目的に本年に何をやるのか、分かる計画案だと思いました。
それから幾つか気になる事があるので質問させていただきます。最初の未来へつ
なぐ「知」の所ですが、デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成ですとか「知」の
アーカイブ化の立案ですとか書いてあるのですが、具体的にどうなのかなと感じま
した。予算がついている事業もあるのでしょうか。その辺も詳しくお聞かせ頂きたい
と思いました。それから、土気の図書室、資料3の7ページ、1(1)ア「土気図書
室を改修し」という所ですが、こちらサービスポイントとなっておりますが、具体的に
説明いただき、具体的に土気図書室がどのようになるのか。他の図書館とどのよう
に違うのかお聞かせいただきたい。それから、6ページの3(8)イですが、私達文
庫の事を書いていただいて大変ありがたかったのですが、こちらファミリーブックタイ
ム運動のついでのように書いてありますので、もし出来れば、項目を分けていただ
きたいと思いました。お願いします。

吉野委員長 はい。ありがとうございました。冒頭ご意見は承りますが、ご質問いただきまし
た、3つについて事務局からお願いできますか。

市川管理課担当課長 中央図書館管理課担当課長の市川と申します。お世話になって
おります。2年度に具体的に行う事業ですが、こちら2年度の予算の部分が掲載

されていませんが、口頭で説明させていただきます。2 年度に予算的に確保されているのが、平成 22 年度に土地整備公社に対して設定した若葉図書館の給排水設備改修及び花見川図書館外壁改修事業の土地整備公社に事業を委託しております。そちらを 10 年後に支出して返すと言う、買い戻しの予算措置が期限到来により措置されております。その他予算措置されているものとして、地域情報サービスの提供と言う事で、図書館サービスポイントの設置、こちら土気図書室の部分となります。市民インタビューによる記憶の保存の内容が盛り込まれていて、合計 980 万円が中央図書館の管理運営費の中に含まれております。土気図書室の具体的な内容ですが、サービスポイントというのが、図書館のサービスとして返却ポストとかそういったものだけでも、図書サービスの一環としてあるものについては、サービスポイント、サービスの拠点と考えております。イオンの返却ポストについても、サービスポイントと考えております。今回の土気図書室においては、閲覧室がほとんど無い状況です。そこに子どもの閲覧スペースを大きくとって改修させていただければと予算措置しております。改修内容については、書架を大幅に減少させて、図書館の閲覧スペースを大きく、子どもが寝そべって本を読めたりするスペースを作ることと、一般の方の閲覧スペースを少し増やすような形で改修していきたいと考えております。機能的には、土気図書室はサービスポイントとして成立しているのですが、サービスポイントとして整備するという言葉の表現になっていきますが、こういった整備を行います。説明は以上になります。

石渡委員 ありがとうございます。ただいまのお答えの中で本を減らすとおっしゃったんですが、本を廃棄するとかそういう事ですか。

市川管理課担当課長 調査したところ、土気図書室には約 3 万冊の蔵書がございます。その内、約 2 万冊が近年(2 年 8 か月)1 回も貸出しされていないという状況の中で、蔵書はありながら、市民の皆様が活用していただけるような本が蔵書として無いという状況がありますので、その部分を整理させて頂いて、スペースを作ること地元の方に今後説明し、ご理解いただきながら進めていきたいと考えております。以上でございます。

吉野委員長 はい、木元委員からお願いいたします。

木元委員 今の土気図書室のサービスポイントの関連なのですが、9 ページに(6)民間機能の活用、(ア)サービスポイントとして再整備した施設の運営については、庁内関係部署や関係機関との協議を行った上で、民間機能を活用した運営について慎重に検討します。とありますが、これは、土気図書室は対象にしているのですか。

市川管理課担当課長 市川でございます。土気図書室については、今後対象になるとは思いますが、現在のところ、民間機能の活用は難しいと考えております。規模的に利益が上がるような施設で無い事は分かっているので、現状では当面、民間活用という事は考えておりません。

吉野委員長 はい。ありがとうございます。他にございませんか。石渡委員、先ほどの回答でよろしかったですか。

石渡委員 追加で伺いたいのですが、資料3の1(3)「知」の提供プラットフォーム(基盤)の構築(「知」の見える化)という言葉を使っているんですけど、非常にこの表現が気になるんですが、概要版を見ると、みんなの「知」が見えるという項目がありますので、これを多分「知」の見える化という言葉に置き換えていると思うのですが、もうちょっとこれを表現的に変える事はできないのでしょうか。日本語としてあまり良くないように思うのですが。

安部館長 ご意見ありがとうございます。「知」の見える化という言葉ですが、実は図書館ビジョン2040の中で既に使っている言葉でございます。それを引用しておりますので、このままとさせていただきます。

吉野委員長 ありがとうございます。概要版の中にも、右上の基本目標1(1)一つ目の丸、最後のところに書かれております。ということでよろしいでしょうか。綾部委員お願いします。

綾部委員 評価指標についてですが、議題1でやりました、令和元年度の評価と比べますと、令和2年度はおおもとのビジョンそのものが変わっている訳ですね。その事の結果として、令和2年度を取組項目を見ますと、ビジョンに掲げている将来的に目標を達成するために様々な事を検討すると掲げられていますが、結果として、検討しますと言う書き方が多くなっています。半面、評価指標として、前年度比増を目指すものについては、具体的な数値が上がって出ているのですが、具体的な数値が出ているものについては、比較的評価し易いんですけど、長期的なビジョンに向けて取り組みを検討しますと言う項目が多くなっている事に対して評価指標としてどのように掲げて、どのように評価していくのかをこの場で意見交換する必要があるのかと思います。まずは事務局側の考えをご説明いただければと思います。

市川管理課担当課長 図書館ビジョン2040は2040年度を目指した計画になります。そのため、実際の具体的な取組項目については、各年度の事業計画及び予算措置の状況で取組項目を決めて行くような動きとなります。一方で図書館ビジョン2040の中にはサービスプラン2010で書かれていたような基礎的サービスな部分については、将来を書いている事から、基礎的な部分は表現されていないところがあります。図書館としては、そこが一番大事な事と認識しております。その中でそこを継続的にやるという事で、この指標というのは、図書館ビジョンの中で書かれていなくても、そこは当然の如く、評価の指標として継続して行くべきものだと考えておまして、そこで数値化して評価できるものについては、継続させていただく。一方でビジョンの中で評価指標に馴染まない部分、こちらについては、項目で評価していただくというような考えの下、こういった形で作らせていただきました。以上でございます。

吉野委員長 はい、ありがとうございます。確かに綾部委員から言われてみると、検討する項目が多いと改めて気が付きます。20年プランですと、1年目は仕方ないと思いますが、何か評価、今年度最初の所で成果物を伴っていただければ良いかと思えます。よく企業ですと、企画書とか計画書だとか、検討したものが分かるようなも

のが上がってくれば良いと思います。綾部委員いかがでしょうか。

綾部委員 はい。ビジョン 2040 の 1 年目なので、具体的なものを出しにくいというのは良く分かります。ただ、検討しますだけとなっていると、1 年後に何を検討したのか、具体的にどんな会議をしたのか、その中身はどうなのか、ある程度の報告が無いと評価のしようがないので、検討した内容についてある程度、これはある意味では情報公開でもありますが、そういう意味で評価出来るようなものを出していただければと思います。以上です。

吉野委員長 はい、事務局お願いします。

市川管理課担当課長 はい。先ほどのご意見についてですが。今、資料 1-1 で掲載させていただいてるように、内部で取組項目についてどのようにやりましたかという評価の項目で掲載させていただきます。それに基づいて内部の評価に対して外部評価委員で評価していただくような形で考えております。ここで、内部で取り組んだ項目については、記載させていただくような事を考えております。以上です。

吉野委員長 ありがとうございます。前年度の評価の段階でも、評価部会の中で質問をさせていただいて、具体的な説明は十分にいただいておりますので、そういう形、あるいは、別に文書等を出していただければ助かると思います。はい。古賀委員お願いします。

古賀委員 初めて参加させていただいて、とんちんかんな質問をするかもしれませんが、これまでも事業を検証なさっていく中で、サービスの取組などをみますと、民間企業では、各項目毎に実行するにあたって、どの程度の予算措置をするかというのは明確に書いてあって、最後評価をする上で、その予算に照らし合わせてどの程度やったのかとなりますが、今回これを見てみると、予算は措置されているとは思いますが、これに書いてないので、我々は分からない。出来れば今後は明確に示していただければと思っております。コロナ関係で令和 2 年度は税込は入ってきていますが、来年度はガクッと減らされるという事態もあると思います。そうすると、ビジョン 2040 の最初の段階で実行できなくなるものも、多分、多く出てくると思います。その関係で、予算、それから人事案についても、評価がそれを人事・予算にどう影響してくるのか、本部の方で見ていただく必要があると思います、その辺を改善していただければと思います。

吉野委員長 はい、事務局からお願いします。

市川管理課担当課長 ご意見ありがとうございます。今年の 3 月だったかと思いますが、前委員さんに令和 2 年度予算及び事業計画という形でお示しさせていただいて、協議会としては、コロナの関係で開催されていないのですが、ご意見をいただいた際に予算及び計画という形で掲載させていただいております。今回の資料では予算のところを掲載すべきだったと反省しております。今後については、令和 2 年度予算及び事業計画として掲載させていただきます。ありがとうございました。

吉野委員長 ありがとうございます。その他ありますか。木元委員お願いします。

木元委員 先程、委員長さんと古賀さんがおっしゃったように、計画自体、検討しますが

多いのと、後半の地区図書館の再編とか老朽化への対応とか市のもっと上の方の市政に関わる部署の動きが大きいと思うんですね。そういった事に関して、この協議会の中でその動きを報告していただけるのかをお聞きしたいのと、今までの協議会の記録を読ませていただいたのですが、みずほハスの花図書館の窓口業務委託に関して、公民館の指定管理に関して、事前に協議会にお話しがあつて、委員がお話をしたという記録が見つかりませんでした。後から決まりましたと、後で協議会が行われているので、それではこの協議会はどんな意味があるのかなと感じたので、その辺の事をお聞きしたいのと、評価指標についてですが、事業取組に関しては 2040 通りの順番でいいと思いますが、次に行う評価に関してなんですが、まず、一番大事なのは、1 の(7)の資料費とか貸出しの数とかそういった基礎項目がまず、評価に値するのではないかと思ったので、その順番をもう少し評価対象を基本的なサービス項目を評価できるようにうまく調整できないかなと思いました。新しい 2040 の方に 2010 が引き継がれているとおっしゃったのですが、中には消えている文言、項目がありまして、有料データベースの事ですか、ホームページアクセス数は評価指数が消えていました。そういった長年やって来た事を引き継ぐ事も大事だと思うし、評価から文言が消えると目が行き届かなくなると思うので、もう一度基礎的サービスの評価という事でもう少し細やかに見ていただいたらと思います。以上です。

吉野委員長 ありがとうございます。幾つかありましたが、事務局から何かありますか。

山崎管理課長 はい。まず、市の意思決定。市の方でも予算編成過程の公表をしておりますけど、計画の分もありますので、関係部局と話しをしまして、公表できる部分については、こちらの方でお示しをしていきたいと思ひますし、また、図書館としてのサービスの一つとなりますので、できる範囲でやっていきたいと思ひております。ホームページの方ですが、アクセス件数というのが、行って戻って、行って戻ってとなり、回数が増えた事だけを評価としていいのか。それと、いろいろな情報発信ツールが出てきまして、ホームページの件数をそのまま残していいのかと判断を迷ったのですが、ホームページ件数に縛られてはいけないのではないかと思ひ、削らせていただきました。

吉野委員長 はい。松尾委員お願いします。

松尾委員 数字で評価するという事は非常に危険なところがありまして、財政当局とかは、数値で見た時に本の冊数が少ないとか、借りる人が少ないとか、来館者数が少ないとなると、当然予算を減らしていく形になっていきます。公立の図書館ですので、公立としての役割をきちんとはたされているかという事が重要だと私は考えているので、そういったところの評価として、公立の図書館というのを基本に置いておかないと、数値だけ見ていくと、別の方向に行く事がありますので、やはり公立の図書館としての役割をきちっとどういった形で果たして行くのかを重点的にすべきだと思ひたいと思ひています。以上です。

吉野委員長 ありがとうございます。石渡委員お願いします。

石渡委員 ただいまの意見良くわかりました。ただ、数値で表れるという事で分かる事もありますし、非常に難しい事だと思います。今回、達成目標を現状維持ですとか、対前年比増とか書いてあるのですが、先ほど、内部も外部もC評価のレファレンス研修の事を見たのですが、職員を対象とした図書館業務に関する研修の実施、参加回数及び受講者数という所なのですが、前年度よりも随分、これはコロナの関係もあるのかもしれませんが、実績が減っていますが、現状維持となっています。こちらに関しては増にはしないのですか。これは疑問だったのですが。

市川管理課担当課長 コロナの影響もあって、4月、5月休館している状況もあり、現状より増というのは恐らく無理と置いていながら、維持せざる得ないという苦渋の選択で作らせていただきました。以上です。

吉野委員長 ありがとうございます。

木元委員 コロナの事なのですが、今年度はコロナウイルスの影響で休館やサービスが限定されるという初めての事態になったと思うので、資料4をつけていただいたのは、とてもありがたいです。その他にどのように図書館はコロナウイルス感染防止のために対応したとか、もし今後、感染拡大した場合、また同じように、休館してしまうのか。それとも何か手立てを考えてサービスは継続していくのか図書館としての方針といったものがあるのか聞かせてください。それを是非今年度の取組項目というか評価指標に入れて、記録して残していくことが大事だと思います。

吉野委員長 はい。事務局の方がいかがですか。

山崎管理課長 ありがとうございます。後ほど資料4の方で説明させていただきます。

吉野委員長 では、後ほどお願いします。一通りご意見、ご質問いただいたと思いますので、こちらに関しては、先ほどの予算を併記するような修正はされますか。

市川管理課担当課長 令和2年度予算という事で、前年度各委員さんの方にお示した内容で修正し、ご提供させていただければと思います。その際、ご質問があれば、随時ご回答させていただくような形で対応したいと思います。いかがでしょうか。

吉野委員長 そうしましたら、今の予算のところを修正していただいて、後ほど全委員にお送りいただいて、質問があれば各自お願いします。この場では評価項目及び評価指標については、一旦了承とさせていただきますと思います。

それでは、議事はこれで終了となります。

(4) その他

吉野委員長 続きまして、次第の4「その他」ですが、私の方から提案がございます。今後、図書館の評価を執り行うに当たりまして、外部評価部会の部会員の選出をいたしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

委員 《異議なし》

吉野委員長 ありがとうございます。それでは、千葉市図書館管理規則第26条第2項によりまして、部会員に関しては、委員長が指名することと規定されておりますので、私の方から指名させていただきます。まず、綾部副委員長。それから、学校連携との関係で、亀山委員。それから今回就任されました、公募委員の中から、木元

委員。以上の3名でお願いしたいと思っております。よろしいでしょうか。お三方。

委員 《異議なし》

吉野委員長 ありがとうございます。では、部会員の皆様、3名の委員という事でよろしくお願いたします。議事は以上となります。事務局の方からその他で先ほどのコロナ関連の説明だと思いますが、よろしくお願いたします。

山崎管理課長 それでは簡単に説明させていただきます。資料4になります。

一番左が時系列で時期、それから、開館・閉館等の状況。それから、対応状況。一番右にそれを決めた背景、市の動き等を記載しています。市全体で健康危機管理対策本部というものが設置されまして、保健福祉局を中心に市の対策を決めて行くという状況になっております。右側に載っている市の動きですが、市のホームページのコロナ関連の中に載っておりますので、議事録等、後で御覧になっていただければと思います。

《千葉県図書館の新型コロナウイルス感染症への対応状況について関する説明》

- ・有料宅配サービス(4,5月)253件 1,545冊の利用。年間の冊数の約10倍。
- ・団体貸出し(小学校、養護学校116校)各30冊を中央図書館で本を選んで、いわゆるプッシュ型で貸出しを行いました。

吉野委員長 ありがとうございます。木元委員よろしいでしょうか。

木元委員 ありがとうございます。

吉野委員長 はい。これで議事の方、その他も含めまして終わりという事になります。特になければ、これで終了させていただきます。よろしいでしょうか。貴重なご意見ありがとうございました。今後またやってみますけど、皆様のご協力をいただきまして、進めていきたいと思っております。では、事務局にお返しします。

進行 ありがとうございます。本日の議事録につきましては、委員長の承認をいただいたうえで確定させていただきます。確定後速やかに委員の皆様にご報告いたしますので、よろしくお願いたします。今後の協議会でございますが、10月、3月の開催を予定しております。どうぞよろしくお願いたします。以上をもちまして、令和2年度第1回図書館協議会を閉会いたします。本日は長時間にわたり、慎重なるご審議をいただき、誠にありがとうございました。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081